



# 碧南ロータリークラブ週報

第2780回例会 平成28年6月1日(水)

- 会長 山中 寛紀
- 幹事 新美 雅浩
- 会場監督(SAA) 杉浦 栄次

2015-2016 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内  
TEL<0566>41-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>  
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール  
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90  
FAX<0566>48-1100



世界へのプレゼントになろう

- 会報委員 藤関孝典・杉浦秀延・八馬宜久

## ● 斉 唱

国歌「君が代」  
ロータリーソング「奉仕の理想」

## ● 四つのテスト唱和

## ● 本日のお弁当

だい忠

## ● 本日のお客様

漫才師 堀江俊介様

## 会 長 挨 拶

サミットが終わりました翌日の28日土曜日の早朝6時に商工会議所に集合しまして、タクシーでセントレアに向かいました。かなり検問が厳しいという話を聞いておりましたので早朝に出発した訳ですけども、一旦りんくうインターで降ろされましたが、止められることなく多数の警官が立つ中をまたインター



山中寛紀会長

に乗りそのまま空港に到着しました。タクシーを降りて建物に入る前に簡単なパスポートや搭乗券のチェックがあり、人によっては荷物の簡単なチェックもありましたが、思ったほど厳戒ではなく、想定した時間より早く手続きも済み無事ソウルに向け出発できました。

韓国の仁川国際空港に着きまして、我々は8人という人数でしたけれども、新車の韓国ヒュンダイ（現代）社製の大型ワゴン車が待っていて、その車でRI国際会議の会場であるKINTEXに向かいました。当日の9時からオープニングセレモニーという形で国際会議が始まった訳ですが、同国で開催される大きなイベントはほとんどこの国際展示場を使用しているらしいので、広大な敷地に何棟も大きな建物があり、駐車スペースがなかなか見つからず

少し時間をとりましたが、無事その後の予定をこなすことができました。

今回の1番のメインでございます29日の夜、ミレニアム・ヒルトンホテルでガバナーナイトが開催されました。今回この国際大会に日本から約2万人が足を運ばれたということで、とにかく市内のあちこちを歩いていてもロータリーバッジを付けた日本人ばかりで色々な所で2760地区の会員の皆さんとお顔を合わせるという状況でございました。ガバナーナイトは460名ほどの出席という盛大なチャリティーディナーパーティーとなりました。

ガバナーナイトの来賓の方の挨拶で初めて知ったのですが、2760地区のガバナーナイトが正式に行われるようになったのは、千田毅ガバナーがポルトガルのリスボンに行かれた時が初めてであったとのことで、その歴史の浅さに正直驚いた次第でございます。また、この2760地区からの国際大会への登録者数は約760名で過去最高であったそうです。

ガバナーナイトも終わり、30日夕方に予定通りセントレアに到着することができました。今回、同行して頂いた7名の会員の皆様には心より御礼申し上げます。また、旅行前から旅行中諸事のお手配までご尽力頂きました新美幹事には大変感謝しております。

ただ1つだけ私の心に引っ掛かってしまいましたけれども、大変残念なことがございました。旅行の最終日に実は鈴木宏枝様のご主人が急逝されたということで、私もその話を聞いたのが帰りの空港のチェックインをする直前でした。帰国の途に着くまでじっとそれを口に出さず耐えておられた宏枝様のご心痛を察するには余りあり、何のこともございませぬ。今はただ亡くなられたご主人のご冥福を心からお祈りしたいと思っております。

湿っぽい挨拶になり申し訳ございませんが、この後の例会もよろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告させていただきます。

- ・ 例会変更等はお手元の幹事報告書の通りでございますので、お目をお通しください。
- ・ 本日の例会終了後に理事会を開催致します。何も問題が無ければ本年度最終の理事会となりますので、よろしくご参集のほどお願い申し上げます。



新美雅浩幹事

## 委 員 会 報 告

### <出席奨励委員会>

総会員数 71 名 (内出席免除者 18 名の内出席者 15 名)出席者 59 名	
出席対象者 59/68 名	出席率 86.76%
欠席者 12 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※六週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

### <ニコボックス委員会>

山中 寛紀君 この度のロータリー国際大会では参加された会員の皆様に大変お世話にな

り、心より御礼申し上げます。余りにも色々有りすぎて、とても語りつくせぬ旅となりました。今はそっと心の中にしまっておきます。

**新美 雅浩君**      ロータリークラブ世界大会に参加されたメンバーの皆様、大変お疲れ様でした。色々と事件もありましたが、全ての旅程を楽しくスケジュール通り終えることが出来、皆様のご協力に感謝申し上げます。血圧に効く高麗人参の効果に現在浸っております。

**鈴木 並生君**      当社、西尾上矢田の土地造成の地鎮祭が本日無事終わりました。関係者の皆様に感謝致します。

**植松 敏樹君**      皆様の浄財で成り立っています、日本赤十字社愛知県支部の病院、血液センター等施設の監査がすべて終了しました。ありがとうございました。

**平岩統一郎君**      碧南商工会議所別館石垣が完成し、運用を始めました。

**黒田 昌司君**      鋳物組合の総会、無事終えることができました。感謝。

**伊藤 正幸君**      オバマ大統領の抱擁は泣けました。

**伊藤 正幸君**      (3人の無口の歯医者さんより)

**榊原 健君**      } 世界大会では山中会長、モッコリ雅浩さんには大変お世話になりました。

**鈴木 健三君**      } 移動の車中で誰一人として寝ることなく、楽しく過ごせました。ありがとうございました。

**鶴田 光久君**      5月30日、碧南市鉄工会総会を無事開催させて頂きました。ありがとうございました。

**角谷 信二君**      } 黒田昌司さんに大変お世話になりました。

**杉浦 栄次君**      }

**藤関 孝典君**      }

**長田 和徳君**      今日でついに55才になりました。昔なら定年です。今後とも、みなさまよろしくお願ひします。

**鈴木きよみ君**      ソウル国際大会では山中会長はじめ皆様に大変お世話になりました。

**鈴木 泰博君**      先日は、栗津康之さん、永坂誠司さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

お誕生日祝いありがとうございました。11日で58才になります。

**岡本 耕也君**      本日のクラブフォーラム講師、堀江俊介さんをご紹介します。

5月28・29・30日のソウル国際大会では山中会長はじめ皆様に大変お世話になりました。特に新美幹事にはカンナムで一緒に過ごせたことに感謝致します。

**苅谷 賢治君**      杉浦保子さん「ロータリーの友」俳壇の部入選おめでとうございます！！

#### <親睦活動委員会>

会員誕生日

1日 長田 和徳君      11日 鈴木 泰博君      16日 山口日出子君

29日 岡本 彰人君

## 奥様誕生日

13日 山本 年朗君の奥様 美里様      17日 小林 尚君の奥様 みゆき様  
27日 岡本 彰人君の奥様 佳美様

## 結婚記念日

4日 杉浦 栄次君・ちづる様 27年      7日 新美 真司君・琢美様 30年

## 入会記念日

16日 林 俊行君

## クラブフォーラム

### 「難病を経験した僕にしかできないこと」

漫才師 堀江俊介様



堀江俊介様

ご紹介頂きました浅草漫才協会所属 碧南市出身の堀江俊介です。どうぞよろしくお願ひします。普段は浅草の舞台上でも10分喋るんですよ。ですけど、今回この講演会で普段の3倍の30分喋ってほしいということで昨日まで色々試行錯誤して、今日はネタが飛ばないかなとか、全部喋りきれないかなとか、そういう思いですっごい緊張しているんですよ。どのくらい緊張しているかという口から心臓が出ちゃうくらい緊張しているんですけども、まあ先ほど紹介して頂いたように僕は堀江俊介といいまして、堀江建材の三男の息子でもあるんですよ。それでですね、「今回ロータリークラブの講演会の仕事を貰ったよ。」と家族に報告しましたら、おばあちゃんから「頑張ったね。」とすごく褒めて頂いたのですが、父親からは「知り合いがたくさんいるから絶対に失敗するなよ。」と変なプレッシャーをかけられちゃいましたね。芸人としてそして堀江建材の息子として今日はこの講演会を務める覚悟でございます。

僕は潰瘍性大腸炎という病気を中学の時に患いまして、この病気は国から援助を貰うぐらいの難病に指定されていまして、すごく辛い病気なんです。僕の口から潰瘍性大腸炎がなぜ難病と呼ばれている理由を説明したいと思います。それは潰瘍性大腸炎を漢字で書くと難しいから難病と呼ばれているんですよ。まあ嘘なんですけどもね。そういうこともありまして潰瘍性大腸炎を患って芸人をやっているということで、新聞に取り上げて頂いてすごい反響があったんですよ。その新聞を見た人からこの記事を書いてくれた新聞記者の方に「ファンレターを送りたいから住所を教えてください。」と連絡がありまして、僕はファンレターを貰ったことが無かったのですごく嬉しかったです。それで住所を教えようかなと思ったんですけども、ふと、もしかしてこれは新手の詐欺ではないんじゃないかなと思ひまして、住所を教えるといってもプライバシーの情報ですからその辺を疑問に思ひましたので、「すみませんがそのファンレターを送りたいという方のお名前だけでも伺ってもよろしいですか？」と新聞記者の方に聞いたところ、びっくりしました。その方は僕の親戚のおばちゃんだったんですよ。それでファンレターを何通かやり取りしまして、父親に「もう電話でいいじゃない

か。」と言われました。そういうびっくりしたこともありましたが、その新聞がきっかけでトントン拍子に進んでテレビ出演も決まったんですよ。芸人ですからどんどん笑いを誘っていたんですけども、放送を見たらその笑いを取っている部分が全部カットされていて、おかしいなあと思ったら、その番組名が「生きるを伝える」という笑えないドキュメンタリー番組だったんですよ。芸人としては場違いなことをしてしまったなあという後悔があります。

先ほども言いましたけれども、僕は潰瘍性大腸炎という病気を中学2年生ぐらいから患いまして、その当時は病気になっているということにまだ気付いていなかったんですよ。というのも高校に入学して健康診断で貧血がひどいからという事で、病院で検査してもらった結果でわかりまして、それまでは普通に生活をしていました。潰瘍性大腸炎の主な症状が大腸に炎症が起きて、お腹が緩くなったり、血便が出たり、貧血になり体力が落ちたり、ひどい時には熱が40度出たり、吐き気を催したりします。中学の時の僕は毎日お腹が緩いなあというぐらいの感じで生活をしていました。今でも憶えているんですけども、病気を患う前はすごい体力に自身があったんですが、病気を患ってからは体力がガタッと落ちてしまいました。

病気とわかってからは辛いことが多かったです。強いて良いことといえば、病気を理由に授業や部活をサボれるというぐらいのちっちゃい事だったんですけども、それぐらいのことが可愛らしく思えるほど辛い体験でした。高校に入学して2年ぐらいはどんどんと悪化していきまして、この病気をきっかけに高校2年生の夏ぐらいから入院をし始めたんですよ。もうその時が1番ひどくて、熱が40度出るわ、吐き気を催すわ、トイレなんか1日に30回以上駆け込んでいまして、その内の3回に1回は吐いていました。何回か薬を飲んで何とか耐えていました。そして手術を受けて、比較的になんか楽な生活を送れるようになりました。

そしてそろそろ進路を決めなければという時期になりまして、実家が堀江建材なので実家で働くのかなとかというフワフワとした考えでした。ですけど、好きなことをやりたいと色々と考えてみたら、ふと昔のことを思い出しまして、昔からお笑い番組を見るのがすごく好きでテレビっ子で興味があり、高3の夏にお笑い芸人になろうと決断しました。

そこからは両親になかなか言えず、僕の19歳の誕生日の12月4日に両親に芸人になりたいと話したところ、あっさりと認めてもらえました。というのも父親は昔やりたいことがあったのですが、堀江建材の長男だったので継がなければいけないという使命みたいなものがあったらしくて、好きなものを諦めて堀江建材を継いだという経験があるから、自分の息子には好きなことをやってもらいたいということで僕に芸人の道を選ばせてくれたんですよ。今も堀江建材で働いていますが、一生父親のことを超えられないんじゃないかというすごい尊敬にあたる部分だと思いました。両親がお笑いに進むことを認めてくれたので、これからは真剣にやらなければいけないなと思って漫才の勉強をしており、ある時、漫才のネタ番組を見ておりましたらナイツさんが出ていて、ナイツさんの漫才を見ていたら、この人たちの傍でずっと勉強していきたいという憧れの存在になりまして、そこからナイツさんの弟子入り志願ということを決めたんですよ。ですけど、どうやったら会いにいけるのだろうと思ひ、色々調べた結果、営業や寄席の出待ちしようということで東京に何度か行って、空振りに終わることもありましたが何とかコンタクトを取れて「弟子にしてください。」と伝え



ましたら、ナイツさんも内海桂子という師匠の弟子にあたる部分で、まだ若手だから弟子を取る身分ではないということで断られました。僕はナイツさんに弟子入り志願すること以外には道は無いと思っていましたから、「どうすればいいですか?」と尋ねましたら、「漫才協会に入りなさい。そこでは面倒を見てあげます。」と言われまして、地元に戻ってきて漫才協会の事務局に電話をしたら、また断られまして、何でだと思ったらコンビでないと入れないということがわかり、吉本の養成所に入り、相方を見つけて漫才協会に入りました。念願の漫才協会ですから教えてもらうことがたくさんありました。

現在はコンビを解散して1人でやっている訳ですけども、相方を探しつつ、1人で自分の面白いなということを探して、自分が面白くならなければ人を笑かせられないなということで、1人で頑張っています。僕はお笑いを見て、何とか闘病生活を乗り越えられたという気持ちがあったので、現在闘病している方々がお笑い芸人の僕を見て、少しでも笑って頂いて病気のことを忘れて頂けたらなという気持ちと、僕は病気を乗り越えて好きなことをやっているということで皆さんに勇気を与えられる芸人になっていけたらなと思っております。

30分という短い間でしたが、これからも芸人として頑張りますので、応援の方よろしくお願ひします。今回はありがとうございました。

## ソウル国際大会

韓国・ソウル国際大会〔平成28年5月28日(金)～6月1日(水)〕

第2760地区ガバナーナイト

平成28年5月29日(日) 19:00～

於：ミレニアム・ソウル・ヒルトン 地下1Fコンベンションホール

出席者 山中寛紀君、新美雅浩君、榊原 健君、伊藤正幸君、鈴木健三君、  
鈴木宏枝君、鈴木きよみ君、岡本耕也君



## 次回例会案内

平成28年6月15日（水） 衣浦グランドホテル

卓話「この1年会長職をふりかえって ～医療現場四方山話とともに～」

会員 山中寛紀君